

# 新風

発行 神石高原町議会議員

## 木野山孝志 後援会

平成27年04月10日 NO.35

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

### 平成27年度 一般会計当初予算

6年ぶり増額

93億4千万円

投資的経費25%の伸び

平成27年度当初予算の、一般会計・特別会計・病院事業会計の合計額は137億5976万円で、前年度対比6535万円の増額予算(0.5%増)となっています。内訳は表のとおりです。

一般会計は93億4千万円で前年度比1億2千万円増(1.3%増)で、小畠公営住宅建設・来見小学校大規模改修など投資的経費(25%増)が大幅に伸びています。

まち・ひと・しごと創生事業など2億7105万円が平成26年度から繰越され事業実施される予定です。

自主財源は15億7611万円、収入総額の16.9%で2.6%の減となりました。繰入金の減などが

#### 平成27年度特別会計・病院事業会計当初予算

単位:万円

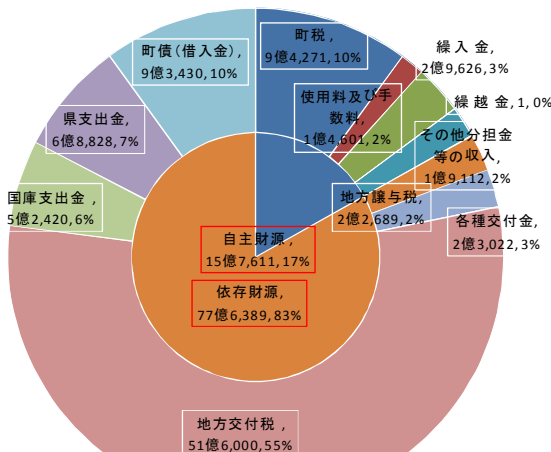
| 会計名    |               | 予算額        |
|--------|---------------|------------|
| 特別会計   | 国民健康保険特別会計    | 12億5,380万円 |
|        | 後期高齢者医療特別会計   | 4億0,400万円  |
|        | 介護保険特別会計      | 18億9,450万円 |
|        | 簡易水道事業特別会計    | 2億5,100万円  |
|        | 飲料水供給施設事業特別会計 | 3,940万円    |
|        | 農業集落排水事業特別会計  | 2億5,150万円  |
|        | 分収育林事業特別会計    | 5万円        |
|        | 総合開発事業特別会計    | 2,840万円    |
| 特別会計合計 |               | 41億2,265万円 |
| 病院事業会計 |               | 2億9,711万円  |
| 合計     |               | 44億1,976万円 |

要因です。依存財源のなかでは地方交付税という国から頂くお金が51億6千万円で総額の55.2%を占めています。借金の返済額は14億6千万円で借入金予定額の1.6倍の額となっています。

平成27年度末の基金(積立金)総残高は100億7700万円で26年度末より6300万円の増を見込んでいます。また、27年度末の地方債(借金)残高の総額は127億2千万円となり3億6千万円の減額となる予定です。

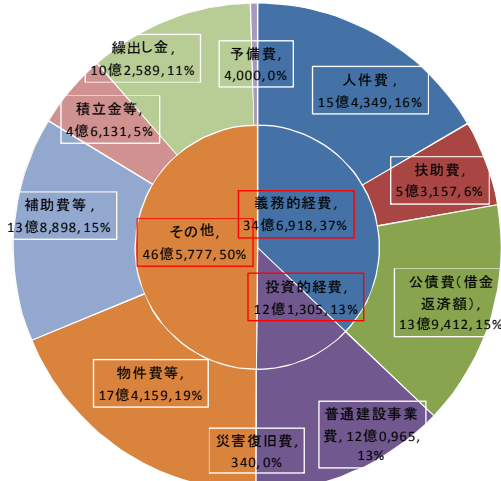
#### H27年度当初予算 歳入

93億4,000万円



#### H27年度当初予算 歳出

93億4,000万円



なお、平成25年度末の町民一人あたりの地方債残高は132万8千円です。人口の大幅減が要因で内平均の64万1千円を大幅に上回っています。

# 平成26年度補正予算 平成27年3月

## 財政調整基金積立に

3億9千万円

平成26年度3月補正の主なものは、平成27年度実施予定の国の経済対策交付金事業「まち・ひと・しごと創生事業」9632万円、財政調整基金積立に3億9千万円などが主なもの、他はほとんどが清算による減額補正です。

## まち・ひと・しごと創生事業の概要

|               |            |
|---------------|------------|
| ①消費喚起         | *各種商品券発行など |
| ②地方創生計画の策定    | 2900万円     |
| ③観光・交流・定住     | 1000万円     |
| ④起業・雇用・就農     | 789万円      |
| ⑤協働のまちづくり     | 514万円      |
| ⑥少子化・子育て      | 459万円      |
| ⑦6次産業化支援      | 2830万円     |
| ⑧教育支援・油木高校・英検 | 580万円      |
|               | 560万円      |

## 平成26年度当初予算会計別総括表

単位:万円(四捨五入)

| 会計名         |          | H26年度     |          |
|-------------|----------|-----------|----------|
|             |          | H27年3月補正額 | 補正後予算額   |
| 一般会計        |          | 2億3374    | 105億2326 |
| 特別会計        | 国民健康保険   | 1233      | 11億7526  |
|             | 後期高齢者医療  | -▲2096    | 3億8680   |
|             | 介護保険     | -▲6742    | 19億1472  |
|             | 簡易水道事業   | -▲1622    | 2億0575   |
|             | 飲料水供設事業  |           | 4230     |
|             | 農業集落排水事業 |           | 2億6796   |
|             | 分収育林事業   |           | 10       |
|             | 総合開発事業   | -▲3640    | 2163     |
|             | 特別会計計    | -▲1億2867  | 40億1452  |
| 病院事業会計      |          | -▲2842    | 5億2598   |
| 合計          |          | 7665      | 150億6376 |
| 特別会計+病院事業会計 |          | -▲1億5709  | 45億4050  |

## 平成27年3月一般会計補正予算(H26年度3月分)

(単位:万円)四捨五入

| 費目    | 補正予算   | 補正後予算    | 主な内容  |
|-------|--------|----------|---|
| 議会費   | -      | 9228     |   |
| 総務費   | 3519   | 16億8856  | 旧永野南小・神石小解体▲795、新築住宅補助・子育て祝い金▲735、源流の里維持再生▲1,737、まち・ひと・しごと創成事業(地方再生先行支援型)6,732、まち・ひと・しごと創成事業(地域消費喚起・生活支援型)2,900 |
| 民生費   | -▲1966 | 18億3892  | 障害者介護給付・訓練給付事業1,935、臨時福祉・子育て特例給付事業清算▲497、介護保険会計繰出し▲999、後期高齢者会計繰出し▲911   |
| 衛生費   | -▲5623 | 11億5782  | 医療従事者貸付金▲810、成人健康診断など▲810、病院事業会計補助▲2,811  |
| 農林水産費 | -▲1741 | 8億2614   | 農村地域総合推進347、数量調整円滑化▲321、県営事業負担金▲400、森林整備活動支援▲341  |
| 商工費   | -▲684  | 1億6749   | 雇用促進奨励助成▲580  |
| 土木費   | -▲3404 | 6億4361   | 坂瀬川共有地事務▲350、町道時安線▲590、単独町道整備▲2,433   |
| 消防費   | -▲1420 | 4億4326   | 非常備消防▲570、消防設備▲362  |
| 教育費   | -▲936  | 6億5116   | 学校教育諸費▲250、保健体育施設(シルトピアグラウンド)▲474   |
| 災害復旧費 | -▲81   | 651      | 現年発生道路橋りょう▲79   |
| 公債費   | -▲3068 | 17億9967  | 長期債元金償還▲1,272、長期債利子償還▲1,796   |
| 諸支出金  | 3億8779 | 11億6784  | 財政調整基金積立39,000  |
| 予備費   |        | 4000     |   |
| 合計    | 2億3374 | 105億2326 |   |

27年4月から

# なにがどうなる

新規事業など

おもなもの

◎教育委員会「生涯学習課」が本所教育委員会内に移転（シルトピアカレッジから）

◎油木高校 大学進学希望者対象の「公営塾」開設

◎集団検診における基本健診費用の無償化、子ども医療費支給を18歳まで拡大、男女不妊医療費助成

◎生ごみ処理機設置に補助、地域自らの除雪作業への助成

◎生活公共交通 ふれあい号と路線バスの乗り継ぎに無償乗車券の発行（料金の上限を300円に）  
利便性の更なる向上→ふれあい号の運行改正など

◎消防デジタル無線の整備、常備消防の高規格救急車（安田）・消防ポンプ自動車（小塚）の更新

◎その他

○小畠住宅建替え

○来見小学校校舎改善

○来見堆肥センター（屋根改修など）

○簡易水道施設整備（油木市場、安田上）

○星の里いせき集会所新築

○新規町道整備（油木豊松線）

○公共施設総合管理基金新規積立

## 国へ意見書を提出しました

### TPP交渉に関する意見書

TPP交渉については、安倍内閣は平成25年2月、交渉に参加することを表明しました。以来、今日まで交渉は難航しております。

我が国の農業は、農業所得の減少、担い手不足の深刻化や高齢化といった厳しい状況にある。特に本町の属する中山間地域ではその傾向は顕著である。耕作放棄地は増加し荒廃が進んでいる。

甘利TPP担当相は、早期交渉妥結に意欲を示していますし、安倍総理もTPPを政権の経済政策の目玉とする意向での交渉参加表明であったわけで、政権の期待は大きいものがあります。

農山村農地は、国土の保全、水源の貯留・涵養（かんよう）、など多面的な機能を持っており、「コメ」の国内生産を確保することは、この機能を充分に生かし日本の自然を守り農山村を守ることであり、また食の確保、安心・安全に直結する。

国益確保の名の下で、農林水産物重要5品目の聖域の確保が出来るのか、非常に不安であります。

TPP協定交渉の結果によっては壊滅的な打撃を受け農産業基盤の消滅により地域が消えるのではないかと危惧される。

ここに、再度、TPP協定交渉につき「聖域の確保について」意見書を提出するものであります。

情報開示協定により十分な情報がないまま、包括的に合意が成されるのではないかと、非常に不安である。

TPP協定交渉にあつては、交渉の状況等について、国民に対し十分な情報提供と明確な説明を行い、「交渉参加に当たっては、農林水産分野の聖域を確保するよう全力を尽くす」方針を堅持し、農産品重要5分野の関税撤廃の除外を、強く要望する。

提案者 木野山孝志  
賛成者 片山元八郎

## 事項別予算質問

### 「総務課」

**木野山 行政防災無線のデジタル化において、町内カバー率は。**

**総務課長** 世帯カバー率79%、面積77・8%でアナログ波の場合より10%程度高くなります。

**木野山 デジタル化を契機に町全体の防災訓練を行ったかどうか。まずは年内にシミュレーションすべきだ。予算化を。**

**総務課長** 平成28年度から運用開始となるが、訓練費は計上していない。全体訓練は前向きに検討する。

**木野山 公共施設総合管理基金積立経費において、過疎債の活用で造成した基金の活用範囲の制限は。**

**総務課長** 規模に関わりなく、原状復帰となる修繕及び解体に活用する。小規模のものは単独町費で対応する。改修はダメです。

**木野山 公共施設総合管理計画の策定方法は。**

**総務課長** まちひとしごと事業で義務付けられている長期計画でおこなう。公共施設全体を網羅する修理・改修計画を策定する。具体の計画はそれぞれの整備計画で策定する。経費の1/2が特別交付税で付加される。

### 「まちづくり推進課」

**木野山 協働支援センターで行う業務は役場と住民でどう分担するのか。どちらが主体となるのか。住民のやりたい業務が先だと思うが。**

**まちづくり課長** 役場でしかできない業務も有り、いま個別に整理している。地域でやりたい業務は積極的に受けて行きたい。

**木野山 自治振興会活動経費の中で、ふるさと納税に対する応援策は。**

**まちづくり課長** 自治振興会のHPを活用しての情報発信を充実して行きたい。要望があれば専門家

による指導も検討したい。  
**まちづくり係長** 町のHPに自治振興会のHPをリンクさせ発信している。現在、小野・新坂・牧・上豊松・井関大矢・有木の自治振興会がHP発信を行っている。

**副町長** 以前は普通交付税相当額を当初予算に計上し決算見込みで出と入を補正していたが、補正額が多く不透明なので平成25年度より定額方式とした。今までの最高額が1億2千万円強だったので病院側の損益に関係なく定額とした。病院側の収入は医療制度変更や患者数の変化で不安定なことから本年は電子カルテ導入による経費の増を見込み1億3千9百万円とした。

木野山 「三和野球場」は本町の唯一の野球場としての施設であり利用も増加傾向にある。長期的な整備計画はあるか。

**町長** 教育委員会と協議はしていないが私個人としては、今のところ整備の考えは持っていない。

### 「病院事業会計」

**木野山 政策医療交付金1億3千9百万円の積算根拠と職員確保対策交付金3百万円の投資効果は。**

**保健課長** 政策医療交付金は昨年度当初予算1億2千万円に消費税増に対応した12月補正分1千9百万円を加算した額。職員確保対策交付金は医師5名に月5万円を交付。医師としてのモチベーションを高めて頂くもので投資効果は高い。

**木野山 額の根拠と医師確保対策も現状には変化が無いが。**

**「学校教育課」**  
**木野山** 今年度入試で地元優先で他市町の生徒は油木高校に入学したくても入れないという噂を聞いたが実態は。

**木野山** 油木高校は有名

**教育長** 選抜1は地元連携中高一貫型校となっておりこの事かと思う。

**木野山** 油木高校は有名

**木野山** 油木高校は有名

